

山形県青少年育成県民会議『平成30年度総会』

～5月29日(火)県庁講堂にて開催～

“いじめ・非行をなくそう” やまがた県民運動の展開とさらなる取り組みを決議。

【総会概要】

会員や青少年育成団体の関係者約120名の出席のもと、午後1時30分、井上常任理事の進行により開会しました。

はじめに柳谷会長が、「県民会議が推進の主体となって関わっている「大人が変われば子どもも変わる」県民運動、“いじめ・非行をなくそう”県民運動があり、全県的な展開と地域に根差した展開という二つの歯車をかみ合わせた取組みが重要である。」と挨拶しました。



続いて、来賓の吉村美栄子知事、廣瀬渉県教育委員会教育長から御祝辞をいただきました。

また、平成29年度に役員を退任された方のうち、永年にわたる功績等のあった、金澤和子氏、齋藤正典氏、野澤伸治氏にそれぞれ感謝状を贈呈いたしました。（金澤和子氏は欠席）

議事に移り、昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の活動方針や事業計画、収支予算、役員を選任などについて協議を行い、提案された全ての議案が承認されました。（今年度役員は裏面に記載）

そして、役員改選により、柳谷会長が退任され、新しく菅間裕晃氏が会長に選出されました。



菅間新会長より、「一人一人の子どもを丁寧に大切にたくましく育てることにより、家庭、地域の中でどのように

大人の姿勢を示せるかが問われている。実践豊富な皆様の協力を得ながら、歴史ある運動を進めていきたい。」と挨拶をいただきました。

【活動方針】

昨今の現状は、少子・高齢化、情報化、国際化が急速に進展し、青少年を取り巻く環境が厳しさを増しています。こうした状況下、県においては平成27年3月に「山形県子ども・若者ビジョン」を策定し、「子ども・若者の一人ひとりが安心できる環境の中で、自分を大切に、他者との関わりを持ちながら、よりよい社会を共に創りあげていく力を身につけることができるよう、社会全体で子ども・若者の育ちや自立を支援する」こととしています。このような社会状況や県の施策の方向を踏まえて、

地域の大人のための

インターネット利用に係る研修会

5月29日に県庁講堂にて株式会社ラック サイバー・グリッド・ジャパン ICT利用環境啓発支援室長吉岡良平氏を講師に迎え、会員や青少年育成団体の関係者約100名に参加いただき、「地域の大人のためのインターネット利用に係る研修会」を開催いたしました。

「家族で考えたいネットのトラブルとセキュリティ～ネット、スマホ、SNSと上手に付き合うために～」と題して、子どもたちのインターネットの利用状況やトラブルに巻き込まれる危険性を、子どもと一緒に大人も考えなくてはいけないとお話いただきました。

会場からは、「自殺をしたい子どもがSNS上での相談に頼ってしまい、自殺を防げないこともあるがどうしたらよいのか」と質問があり、吉岡氏から「普段から生活の中での声かけ、放置しないことが大事。子どもの問題は、お母さんだけでなく、男親にしかわからないこともあるので、お父さんにも積極的に関わってほしい」とお話いただきました。



①心身を健やかに育む、②社会力を育成する、③社会参加、社会的自立を促す、④社会環境の浄化の4点を活動の方向といたします。

この活動の方向をもとに次の重点事項に積極的に取り組めます。

～ 平成30年度 重点事項 ～

- ① いじめ・非行防止に係る取組みの推進
 - ・青少年が主体的にいじめ問題と向き合い、その解決を考える取組みを関係機関と一体的に推進する。
- ② 「活動の方向」に係る地域の実践活動の強化、促進
 - ・市町村民会議、県地区青少年育成連絡協議会の活動を支援する。
- ③ 青少年を社会全体で育成・支援する環境づくりの推進
 - ・「青少年の健全育成」の理解と取組みが広まるよう気運の醸成を図る。「青少年を地域で見守り、育み、支援する」安心安全な環境をつくる。

【事業と予算】

- 1. 県民会議運営事業 8,040,000 円
- 2. 県民運動総合推進事業 4,639,000 円
 - (1)「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動 (3,542,000 円)
 - *市町村民会議等の支援
 - *標語の募集・県民運動の周知
 - *いじめ・非行防止セミナー
 - *生徒と地域の大人の対話会
 - *インターネット利用に関する研修会【新規】
 - (2)「大人が変われば子どもも変わる」県民運動等地域社会環境づくり推進 (1,097,000 円)

- 3. 青少年育成意識醸成・環境づくり推進事業 1,100,000 円
 - (1)明るいやまがた夏の安全県民運動等 (150,000 円)
 - (2)青少年健全育成県民大会開催 (450,000 円)
 - (3)少年の主張県大会開催 (500,000 円)
 - 4. 青少年育成広報啓発事業 418,000 円
 - (1)機関紙等の発行 (140,000 円)
 - (2)啓発活動 (278,000 円)
- *県内プロスポーツ団体と連携した啓発活動【新規】

【平成30年度役員】

会 長	菅間 裕晃	
副会長	宮田 浩一	伊藤 康則
	安達 英一	小松 功
	長岡 好永	
常任理事	中原 浩子	井上 達也
	菊地 元宏	手塚 宮雄
	元木十四男	佐藤 重勝
	水戸 一徳	細谷 隆良
	鈴木 真一	
理 事	深瀬 昌三	山口 四郎
	新野 彰	須貝 智
	太田 正則	渡邊 斉
	小棹 俊輔	鈴木 隆一
	高山喜志子	山川祐美子
	門脇 徹	辻原 吉子
	菅野 ふみ	恩田 健次
	大場 秀樹	柿本 紀彦
	佐藤 佳子	
監 事	森 晃	齋藤 哲也

新規会員拡大へ

入会のお願い

山形県青少年育成県民会議は、これまで、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動や「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動」を展開して参りました。今後、山形の未来を担う青少年が元気で社会性豊かに育つよう、より一層力を入れて、取組みを展開して参ります。活動や趣旨に御賛同・御協力いただける新規会員の方を募集しております。

☆会員の種類と会費

- ・特別会員(一〇三万円)
- ・賛助会員(一〇五千円)
- ・団体会員(一〇千円)
- ・個人会員(一〇千円)

☆現在の会員数(一、四三五)

平成三十年三月三十一日現在

会員の皆様には会報をお送りするとともに、特別会員は会報及び総会資料に、賛助会員は総会資料にお名前を掲載させていただきます。

【特別会員】

- ・全国JA農業協同組合連合会山形県本部
- ・全国共済農業協同組合連合会山形県本部
- ・一般社団法人山形県建設業協会
- ・一般社団法人山形県銀行協会
- ・山形放送株式会社
- ・出羽三山神社
- ・高橋畜産食肉株式会社
- ・株式会社グローバルマシーン

(敬称略 順不同)